

目 次

法人の特徴	1
(法人の達成状況報告書から転載)		
評価結果		
《概要》	5
《本文》	7
《判定結果一覧表》	13

法人の特徴

大学の基本的な目標（中期目標前文）

国立大学法人旭川医科大学は、医療の質の向上、地域医療への貢献、国際社会、特に発展途上国等への支援を推進するため、豊かな人間性と高い倫理観を持ち、多様な資質を有する医療職者を育成する。同時に、国際的視野に立って生命科学に関する先端的な研究を推進し、高度な研究能力を持つ研究者を育成する。このような役割を果たすため、当該中期目標期間の基本的な目標を、以下のとおり設定する。

（基本的な目標）

1. 高い生命倫理観を持ち、高度な実践的能力を有する医療職者を養成する。
2. 国際的視野に立って重点領域分野の研究を定め積極的に支援するとともに、若手研究者などの先端的な研究シーズの育成に努める。
3. 大学と地域社会や国際社会との連携を図り、社会に開かれた大学を目指す。また、産学官連携による共同研究等を推進する。
4. 地域の基幹病院として地域医療の先導的役割を果たすと同時に、先端的医療の開発・提供並びに高次診療及び救急診療体制等の充実を図る。
5. 病院収入をはじめ自己財源の確保・拡充による財政基盤の安定化に努め、健全な大学運営を行う。

《設置及び理念》

本学は、道北・道東地域における医療過疎の解消と高度先端医療の提供を期待され、昭和48年に設置された。

本学の基本理念は、医療の質の向上と地域医療への貢献を推進するために高い生命倫理観を有し、高度な実践能力を有する医療職者を育成すると同時に、生命科学に関する先端的な研究を推進し、高度な研究能力を持つ研究者を育成することである。

《現況》

本学では社会の求めに応じられる医師・看護職者を育成するため、アドミッション・ポリシーに「医師・看護職者としての適性とともに関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生」を掲げ、医学科入学定員の中に、地域枠制度の導入など、多様な選抜方法による入学者選抜を実施している。

学部教育では、医療人としてのモチベーションを高める、早期体験実習やチュートリアル教育、現場のニーズに即した実践的な科目や、「健康弱者のためのプログラム」など、新たな視点から医療を見つめる科目を配置し、「自学自習の学習態度」を養えるよう配慮している。また、日々進歩する医学の最前線にも触れるよう「医学研究」の科目を設けている。

大学院教育では、大学院医学研究科に「看護学専攻」の修士課程、「医学専攻」の博士課程を置いている。修士課程は、看護学研究者、看護学教育者の育成を目指す「修士論文コース」と専門看護師養成を目指す「高度実践コース」からなり、豊かな人間性、優れた研究能力、高い倫理観を備えた看護専門職者を育成している。博士課程は、先端的医学研究を目指す「研究者コース」と優れた臨床研究を目指す「臨床研究者コース」からなり、高度の知識・技量・研究能力を備えた研究者及び医療職者を育成している。

研究面では、医学・看護学の発展に資するための様々な研究が行われ、学内公募による「独創性のある生命科学研究プロジェクト」の研究助成を実施し、文部科学省科学研究費助成事業の採択につなげている。また、「眼組織再生医学」及び「心血管再生・先端医療開発」等7つの寄附講座を開設し、先端医療の開発に取り組んでいる。

医療面では、病院は臓器別・系統別診療体制の下で高度先端医療の提供や、医学科・看護学科学学生の臨床教育、研修医の卒後臨床研修及び医療職者の生涯教育を行っている。

社会・国際貢献では、地域住民を対象に公開講座や派遣講座等を実施するとともに、図書館や臨床シミュレーションセンターを開放している。また、国内外の59の医療機関とネットワークを形成し、高度情報通信システムによる遠隔医療を展開するとともに、中国に対して遠隔医療センターの設立や遠隔医療技術の支援を行っている。また、発展途上国から保健従事者等を受入れ、保健看護等に関する研修を実施している。

[個性の伸長に向けた取組]

- ・入学センターを中心に、事後評価を行い、次年度以降の入学者選抜方法を検討するシステムが機能しており、数多くの改善を行っている。

(関連する中期計画) 計画1-1-1-2

- ・コミュニケーション能力及び医療面接のスキル等を養成するために模擬患者の自学養成を開始し演習に生かし、教育の充実を図っている。

(関連する中期計画) 計画1-1-9-1

- ・医学科2009カリキュラムでは、医学科地域枠入学者のみならず全員への必修科目として、多年次にわたる重層的な地域医療教育を行っている。

(関連する中期計画) 計画1-1-10-1

- ・旭川医科大学図書館改革のグランドデザインに基づき、図書館の設備を充実させ、利用環境を整備している。

(関連する中期計画) 計画1-2-2-2

- ・学内公募による、独創性のある生命科学研究支援により個別研究では、科学研究費助成事業の採択、プロジェクト型研究では大型研究費の採択につながり、また、医師主導治験から薬事承認申請につなげている。

(関連する中期計画) 計画2-1-1-1

- ・学内共同利用施設の改組により、専任教授を配置した教育研究推進センターを設置し、研究者教育・研究シーズの発掘・育成・臨床応用までのシームレスな支援体制で研究者ニーズに対応している。

(関連する中期計画) 計画2-2-1-1

- ・臨床応用支援機能強化のため、企業治験の支援組織である治験支援センターの組織改革を行い、臨床研究支援センターを設置し、臨床研究の活性化を図っている。

(関連する中期計画) 計画2-2-6-1

- ・平成22年度に設置した知的財産センターにマネージャーとして専任教員を配置し、知財相談・知財教育を推進している。

(関連する中期計画) 計画2-2-5-2

- ・地方公共団体や高等学校等からの求めに応じ、道内各地の住民等を対象に無償で講演活動を行う「派遣講座」により、地域の生涯学習ニーズに応え貢献している。

(関連する中期計画) 計画3-1-2-2

- ・遠隔医療システムにより、道内を中心に国内外59の医療機関と遠隔医療ネットワークを形成し、リアルタイム及び非リアルタイムの遠隔診断による医療支援を実施している。

(関連する中期計画) 計画3-1-1-2

・道内各地に暮らす人々のために、インターネットを活用し、「病気治療の最新情報」等を提供する「北海道メディカルミュージアム」を実施している。

(関連する中期計画) 計画3-1-2-1

・国際協力機構(JICA)からの委託事業により、毎年、発展途上国からの研修生を受け入れるとともに、インドネシアなどの発展途上国との共同研究を実施している。また、特定非営利法人日本口唇口蓋裂協会と共同で、ベトナムにおいて口唇口蓋裂患者の診察・手術や技術指導等を実施している。

(関連する中期計画) 計画3-2-2-1

・中国の中日友好医院が進めていた遠隔医療プロジェクトに協力し、中国国内の4拠点病院を遠隔医療ネットワークに組入れ、遠隔手術の技術・医療の両面からの支援や遠隔カンファレンス等を実施している。

(関連する中期計画) 計画3-2-1-2

[東日本大震災からの復旧・復興へ向けた取組等]

震災発生日から災害派遣医療チーム(DMAT)をいわて花巻空港へ派遣し、同空港を拠点に被災者の救護活動を行った。その後、被災した東北4県へ医療救護班等の派遣など継続的な医療支援等を行った(資料1)。

資料1 東日本大震災からの復旧・復興へ向けた取組等一覧

活動区分	派遣内容	延人数	派遣期間	延日数	派遣先
医療救護	医師2人, 看護師2人, 事務職員1人によるDMATチーム	5	平成23年 3月11日～平成23年 3月15日	5	岩手県
〃	医師, 看護師, 薬剤師, 事務職員による医療救護班	65	平成23年 3月22日～平成23年 5月12日	52	宮城県
死体検案	医師1人	1	平成23年 4月11日～平成23年 4月18日	8	〃
〃	〃	1	平成23年 6月21日～平成23年 6月29日	9	〃
〃	〃	1	平成23年 6月22日～平成23年 7月 1日	10	岩手県
医療支援	医師1人	1	平成23年10月17日～平成23年10月24日	8	宮城県
〃	〃	1	平成23年12月13日～平成23年12月20日	8	〃
〃	〃	1	平成24年 3月 6日～平成24年 3月13日	8	〃
〃	〃	1	平成24年 3月13日～平成24年 3月20日	8	〃
〃	〃	1	平成24年 7月25日～平成24年 8月 1日	8	〃
〃	〃	1	平成24年10月14日～平成24年10月20日	7	福島県
〃	〃	1	平成24年11月18日～平成24年11月23日	6	岩手県
〃	〃	1	平成25年 2月24日～平成25年 3月 2日	7	〃
〃	〃	1	平成25年 6月23日～平成25年 6月29日	7	茨城県
〃	〃	1	平成25年 10月6日～平成25年10月11日	6	福島県
計		83		157	

(出典：事務局資料)

評価結果

《概要》

第2期中期目標期間の教育研究の状況について、法人の特徴等を踏まえ評価を行った結果、旭川医科大学の中期目標（大項目、中項目、小項目）の達成状況の概要は、次のとおりである。

＜判定結果の概要＞

中期目標（大項目）	判定	中期目標（小項目）の判定の分布			
		非常に優れている	良好	おおむね良好	不十分
(Ⅰ) 教育に関する目標	おおむね良好				
① 教育内容及び教育の成果等に関する目標	おおむね良好		1	14	
② 教育の実施体制等に関する目標	おおむね良好			5	
③ 学生への支援に関する目標	おおむね良好			5	
(Ⅱ) 研究に関する目標	おおむね良好				
① 研究水準及び研究の成果等に関する目標	おおむね良好		1	5	
② 研究実施体制等に関する目標	おおむね良好			6	
(Ⅲ) その他の目標	おおむね良好				
① 社会との連携や社会貢献に関する目標	おおむね良好		1	2	
② 国際化に関する目標	おおむね良好			2	

<主な特記すべき点>

個性の伸長に向けた取組

- 第2期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）に、学長裁量経費により外部資金獲得につながる研究を助成する「独創性のある生命科学研究」を学内にて公募している。この結果、平成22年度と平成27年度を比較すると、選定した個別研究のうち、科学研究費助成事業に採択された件数は10件から22件へ、採択率は31.3%から66.7%へそれぞれ増加している。（中期計画2-1-1-1）

- 道内を中心に国内外の医療機関と遠隔医療ネットワークを形成しており、診療・手術の指導や術中迅速病理組織診断等を行うリアルタイムでの遠隔医療、MRI・CT・X線等の遠隔画像診断等を行う非リアルタイムでの遠隔医療を実施している。これらの医療支援の充実を図ることにより、遠隔医療ネットワークを形成している国内外の医療機関数は59件となっており、遠隔医療の実績数は、平成23年度までに3,000件程度であったところ、平成24年度には4,437件、平成27年度には5,866件となっている。
（中期計画3-1-1-2）

<復旧・復興への貢献・支援活動等に関係した顕著な取組>

- 震災発生日から災害派遣医療チーム（DMAT）をいわて花巻空港へ派遣し、同空港を拠点に被災者の救護活動を行った。その後、被災した東北4県へ医療救護班等の派遣など継続的な医療支援等を行った。

《本文》

(I) 教育に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「教育に関する目標」に関する中期目標(3項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 中期目標の達成状況

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「教育内容及び教育の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標(15項目)のうち、1項目が「良好」、14項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

<特記すべき点>

(優れた点)

○地域医療実習の充実

中期目標(小項目)「⑥地域医療・福祉についての理解と関心を深めるための教育を推進する。」について、看護学科では、平成24年度に保健師教育課程が選択制に移行し、従来、必修科目であった「地域保健看護学実習Ⅰ・Ⅱ」が、選択科目の「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」に移行している。これに伴い、保健師を選択しない学生の地域医療に関する学習内容を保証するため、地域包括支援センターや介護施設における体験型実習を取り入れた「高齢者看護学実習」、訪問看護ステーション等で実習を行う「在宅看護学実習」を必修科目として導入している。従来の「地域保健看護学実習Ⅰ・Ⅱ」がそれぞれ60、30コマであるのに対して、「高齢者看護学実習」は120コマ、「在宅看護学実習」は60コマと増加し、地域医療実習の充実を図っている。(中期計画1-1-10-2)

(2) 教育の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標(5項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

(3) 学生への支援に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標(5項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

(Ⅱ) 研究に関する目標**1. 評価結果及び判断理由**

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「研究に関する目標」に関する中期目標(2項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 中期目標の達成状況**(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標**

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「研究水準及び研究の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標(6項目)のうち、1項目が「良好」、5項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

<特記すべき点>**(優れた点)**

○学長裁量経費による研究助成

中期目標(小項目)「研究水準 ①独創性を有する研究を推進する。」について、第2期中期目標期間(平成22年度から平成27年度)に、学長裁量経費により外部資金獲得につながる研究を助成する「独創性のある生命科学研究」を学内にて公募している。この結果、平成22年度と平成27年度を比較すると、選定した個別研究のうち、科学研究費助成事業に採択された件数は10件から22件へ、採択率は31.3%から66.7%へそれぞれ増加している。(中期計画2-1-1-1)

(2) 研究実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「研究実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標(6項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

(Ⅲ) その他の目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「その他の目標」に関する中期目標(2項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 中期目標の達成状況

(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標

【評価結果】中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「社会との連携や社会貢献に関する目標」の下に定められている具体的な目標(3項目)のうち、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

<特記すべき点>

(優れた点)

○地域医療従事者の知識及び技能等の向上への貢献

中期目標(小項目)「地域医療を担う医療従事者の生涯学習及び職業能力の向上に貢献する。」について、臨床シミュレーションセンター(CSC)を地域医療従事者の医療技術の習得や技能等の向上に貢献するため開放している。CSCの開放について、ニューズレターであるCSC通信をウェブサイトに掲載するなど情報提供を行った結果、地域医療従事者の延べ利用人数及び貸出延べ利用人数の合計は最大で平成24年度までに200名程度であったところ、平成25年度には323名、平成27年度には1,488名へ増加している。(中期計画3-1-1-1)

○国内外の医療機関と遠隔医療ネットワークの形成による遠隔医療の件数の増加

中期目標(小項目)「地域医療を担う医療従事者の生涯学習及び職業能力の向上に貢献する。」について、道内を中心に国内外の医療機関と遠隔医療ネットワークを形成しており、診療・手術の指導や術中迅速病理組織診断等を行うリアルタイムでの遠隔医療、MRI・CT・X線等の遠隔画像診断等を行う非リアルタイムでの遠隔医療を実施している。これらの医療支援の充実を図ることにより、遠隔医療ネットワークを形成している国内外の医療機関数は59件となっており、遠隔医療の実績数は、平成23年度までに3,000件程度であったところ、平成24年度には4,437件、平成27年度には5,866件となっている。(中期計画3-1-1-2)

(2) 国際化に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 「国際化に関する目標」の下に定められている具体的な目標(2項目)のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

《判定結果一覧表》

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
(I) 教育に関する目標		おおむね良好	
① 教育内容及び教育の成果等に関する目標		おおむね良好	
入学者選抜に関する基本方針 [学士課程] ①アドミッション・ポリシーに沿った学生を入学させる。		おおむね良好	
1-1-1-1	入学者選抜に関する具体的方策 [学士課程] ①アドミッション・ポリシーの周知を図るため、オープンキャンパス・学校訪問・学校説明会を開催するとともに、高大連携を積極的に行う。	おおむね良好	
1-1-1-2	②入学センターを中心として、各種入学者選抜方法を事後評価するとともに、入学者選抜方法を改善する。	おおむね良好	
1-1-1-3	③学生の成績追跡システムを活用し、各種選抜試験で入学した学生の、入学後の教育の成果・効果を調査・研究し、入学者選抜方法の改善に活用する。	おおむね良好	
②北海道の医療に貢献する学生を入学させる。		おおむね良好	
1-1-2-1	④医学科のAO入試北海道地域枠、地域枠推薦入試及び看護学科推薦入試等の特別選抜試験の理解を深めるため、北海道内の高校訪問及び大学説明会を開催するとともに、特別選抜試験の実施方法を改善する。	おおむね良好	
[大学院課程] ①アドミッション・ポリシーに沿った学生を入学させる。		おおむね良好	
1-1-3-1	[大学院課程] ①アドミッション・ポリシーの周知を図るため、大学院（修士課程・博士課程）説明会を開催する。	おおむね良好	
②国際化や修学機会の多様化を推進するため、留学生、社会人を対象とした秋季入学制度の導入を図る。		良好	
1-1-4-1	②留学生、社会人を対象とした10月（秋季）入学の制度を導入する。	良好	
教育課程及び教育方法に関する基本方針 [学士課程] ①医療に対する多角的な視点と豊かな人間性を育成する。		おおむね良好	
1-1-5-1	教育課程及び教育方法に関する具体的方策 [学士課程] ①旭川ウェルビーイング・コンソーシアム等により教養教育の機会を増やし、また、早期体験実習の検証により実学的実習を充実させる。	おおむね良好	
②初年次教育における学びの動機付け及び自学自習の習慣形成による知識の習得等を推進する。		おおむね良好	
1-1-6-1	②初年次教育における学びの動機付け及び自学自習の習慣形成による知識の習得等を推進するための具体的方策を実施する。	おおむね良好	

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
③高い生命倫理観を持った医療従事者を育成する。		おおむね良好	
1-1-7-1	③生命倫理・医療哲学に関する科目をより一層充実させる。	おおむね良好	
④十分な知識と高い実践的臨床能力を持った医療従事者を育成する。		おおむね良好	
1-1-8-1	④十分な知識と高い実践的臨床能力を持った医療従事者を育成するための教育内容を充実させる。	おおむね良好	
⑤高いコミュニケーション能力を持った医療従事者を育成する。		おおむね良好	
1-1-9-1	⑤コミュニケーション関連科目の内容等を検証し、コミュニケーション能力及び医療面接のスキル等を養成する教育を充実させる。	おおむね良好	
⑥地域医療・福祉についての理解と関心を深めるための教育を推進する。		おおむね良好	
1-1-10-1	⑥教育GP「高大病連携によるふるさと医療人育成の取組」事業を継続し、地域枠入学制度で入学した学生に対する教育体制を整備するとともに、地域医療教育を検証し、充実させる。	おおむね良好	
1-1-10-2	⑦医学科の臨床実習及び看護学科の臨地実習での地域医療実習を充実させる。	良好	優れた点
⑦「国際的なコミュニケーション能力」を持った医療従事者を育成する。		おおむね良好	
1-1-11-1	⑧医学英語教育を見直し、充実させる。	おおむね良好	
⑧コア・カリキュラム等との整合性を図るため、カリキュラムを整備する。		おおむね良好	
1-1-12-1	⑨カリキュラム全体を定期的に見直す。なお、ブラッシュアップを適宜行う。	おおむね良好	
[大学院課程] 生命倫理観と研究意欲を持つ研究者及び高度専門医療人を育成するための教育内容を充実させる。		おおむね良好	
1-1-13-1	[大学院課程] 教育課程と教育目標との整合性の検証を行い、その結果に基づき改善する。	おおむね良好	
成績評価等に関する基本方針 [学士課程] ①科目毎に評価基準（評価の構成要素と比重）を見直して、適切な評価システムに整備する。		おおむね良好	
1-1-14-1	成績評価等に関する具体的方策 [学士課程] ①科目毎の成績評価及び学年進級判定基準を見直す。	おおむね良好	
②学年毎の進級判定及び卒業判定基準を見直し、厳格な評価を行う体制を整備する。		おおむね良好	
1-1-15-1	②進級、卒業判定を厳格に行い、成績をトレースするシステムを整備することにより、国家試験の合格率の向上に対応できるシステムを構築する。	おおむね良好	

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
② 教育の実施体制等に関する目標		おおむね良好	
教職員の配置に関する基本方針 ○教育目標の実現を図るために必要な教育体制を整備する。		おおむね良好	
1-2-1-1	教職員の配置に関する具体的方策 ○学生に対する学習支援及び相談体制を充実させる。	おおむね良好	
教育環境の整備に関する基本方針 ○教育に必要な施設・設備の整備・活用を図る。		おおむね良好	
1-2-2-1	教育環境の整備に関する具体的方策 ①臨床シミュレーションセンター、チュートリアル室などの教育に必要な施設・設備を整備し、積極的に活用する。	おおむね良好	
1-2-2-2	②平成20年3月に策定した旭川医科大学図書館改革のグランドデザインに基づき、図書館の設備を充実させ、利用環境を整備する。	おおむね良好	
教育の質の改善に関する基本方針 〔学士課程〕 教育の質の向上を図るシステムを整備する。		おおむね良好	
1-2-3-1	教育の質の改善に関する具体的方策 〔学士課程〕 ①FD活動を定期的・継続的に実施し、教育の質を充実させる。	おおむね良好	
1-2-3-2	②北海道地区の国立大学と連携し、教養教育を充実させる。	おおむね良好	
〔大学院課程〕 ①学位授与のシステムを改善する。		おおむね良好	
1-2-4-1	〔大学院課程〕 ①複数の教員による研究指導体制を継続しつつ、学位授与のシステムを整備する。	おおむね良好	
②授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図る。		おおむね良好	
1-2-5-1	②大学院担当の教員に対するFD活動を充実させる。	おおむね良好	
③ 学生への支援に関する目標		おおむね良好	
学習支援に関する基本方針 ①学生の視点に立った学習支援を行う。		おおむね良好	
1-3-1-1	学習支援に関する具体的方策 ①学生の意見や要望を支援方針に反映させる。	おおむね良好	
②学生一人ひとりの学習意欲を高めるための学習支援方法等を整備する。		おおむね良好	
1-3-2-1	②学習に関する相談対応・助言を行う制度を整備し、周知徹底し活用を促進する。	おおむね良好	
生活支援等に関する基本方針 ①学生が、心身の悩みや生活全般についての問題を気軽に相談できる体制を整備する。		おおむね良好	
1-3-3-1	生活支援等に関する具体的方策 ①健康指導・健康診断・カウンセリングを充実させる。	おおむね良好	

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
	②学生の生活環境を改善するために福利厚生充実及び課外活動に対する支援を図るために施設の整備を図る。	おおむね良好	
1-3-4-1	②看護学科学生に対する奨学資金貸与制度及び大学院学生に対する奨学金支給制度による経済的支援を継続する。	おおむね良好	
1-3-4-2	③福利厚生施設等の計画的な整備を行う。	おおむね良好	
留学生の支援に関する基本方針 ○留学生に対する各種支援体制の構築及び支援活動を充実させる。		おおむね良好	
1-3-5-1	留学生の支援に関する具体的方策 ①留学生のために、日本語・日本文化も含めた特別プログラムを構築するなど、修学支援体制を充実させる。さらに、北海道地区の国立大学と連携し、入学前の留学生を対象とした準備教育に取り組む。	おおむね良好	
1-3-5-2	②「旭川医科大学学術振興後援資金」による外国人留学生に対する経済的支援を継続する。	おおむね良好	
(Ⅱ) 研究に関する目標		おおむね良好	
① 研究水準及び研究の成果等に関する目標		おおむね良好	
研究水準 ①独創性を有する研究を推進する。		良好	
2-1-1-1	研究水準に関する具体的方策 ①独創性のある生命科学の研究を推進する。	良好	優れた点
②医学・医療への貢献を目指し、地域社会や国際社会との連携を踏まえた研究を推進する。		おおむね良好	
2-1-2-1	②健康増進に向けて、地域に特異的な疾患の調査及び病態解明に関する研究を推進する。	おおむね良好	
2-1-2-2	③遠隔医療の高質化と利用促進を図る。	おおむね良好	
研究成果の社会への還元等 ①学内の研究情報を社会へ公表する。		おおむね良好	
2-1-3-1	研究成果の社会への還元等に関する具体的方策 ①学内の研究情報を、学術成果リポジトリや旭川医科大学研究フォーラム等により社会に公表する。	おおむね良好	
②産学官連携による共同研究等を推進する。		おおむね良好	
2-1-4-1	②知的財産管理運用体制を強化することによって、学内の研究成果を産学官連携による共同研究等に繋げる。	おおむね良好	
検証に関する目標 ①研究の水準・成果及び地域社会への貢献度を検証する。		おおむね良好	
2-1-5-1	検証に関する具体的方策 ①研究の水準及び成果を客観的指標により検証するとともに、地域社会への貢献度もあわせて検証する。	おおむね良好	
②研究評価に基づき、研究活動を活性化する。		おおむね良好	
2-1-6-1	②研究活動の活性化を図るため、自己点検・評価を毎年行う。	おおむね良好	

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
② 研究実施体制等に関する目標		おおむね良好	
重点的に取り組む領域分野に研究者等を配置する。また、教育研究支援部門を見直し、研究支援者の再配置も適宜行う。		おおむね良好	
2-2-1-1	重点的に取り組む領域分野を選定し、その充実を図るため、研究者等を配置し、設備を導入する。また、教育研究支援部門を見直し、技術職員をはじめとする研究支援者を適正に配置する。	おおむね良好	
大学として総合的に研究を推進支援するシステムを構築する。		おおむね良好	
2-2-2-1	研究戦略・教育支援室を中心に総合的に研究を推進支援する。	おおむね良好	
大学として重点的に取り組む領域分野を策定し、研究支援を行う。		おおむね良好	
2-2-3-1	大学として重点的に取り組む領域分野を策定し、それに合わせた研究支援を行い、定期的に評価を加える。	おおむね良好	
若手研究者の先端的な研究シーズを育成する。		おおむね良好	
2-2-4-1	若手研究者の先端的な研究シーズを育成するために、公募による研究資金支援を行い、定期的に評価を加える。	おおむね良好	
外部研究資金の獲得、知的財産の管理・活用を促進する。		おおむね良好	
2-2-5-1	外部研究資金の獲得、知的財産管理等に関する具体的方策 ①文部科学省科学研究費補助金をはじめとする外部研究資金を積極的に申請する。	おおむね良好	
2-2-5-2	②知的財産に関する学内啓発と適切な管理運営を行い、企業等との共同研究、外部資金の獲得を促進する。	おおむね良好	
臨床研究等への基盤整備を行う。		おおむね良好	
2-2-6-1	教育研究支援部門を見直し、臨床研究の活性化を図る。	おおむね良好	
(Ⅲ) その他の目標		おおむね良好	
① 社会との連携や社会貢献に関する目標		おおむね良好	
地域医療を担う医療従事者の生涯学習及び職業能力の向上に貢献する。		良好	
3-1-1-1	地域の医療従事者に対する生涯学習サービスの実施 ①地域医療従事者の知識及び技能等の維持・向上のため、施設を開放する。	良好	優れた点
3-1-1-2	②地域医療機関等との連携の下、遠隔医療システムやICT等を活用し、リアルタイムでの医療技術指導、画像診断支援及び病理診断支援等を拡充する。	良好	優れた点
3-1-1-3	③地域医療従事者を研修生として受け入れる等地域の医療水準の向上に貢献する。	おおむね良好	

中期目標（大項目）		判定	特記すべき点
中期目標（中項目）			
中期目標（小項目）			
計画番号	中期計画		
住民へ予防・健康医学等の啓発活動を行う。		おおむね良好	
3-1-2-1	地域住民への予防・健康医学等の啓発活動及び学習の場の提供 ①地域住民のニーズに応え、公開講座を開催するとともに、ICTを活用して予防・健康医学等の啓発活動を推進する。	おおむね良好	
3-1-2-2	②地方公共団体等からの要請に応じて講師を派遣する「旭川医科大学派遣講座」をより一層充実させる。	おおむね良好	
教育面での社会貢献を推進する。		おおむね良好	
3-1-3-1	地域医療従事者の育成及び地域住民の生涯学習への貢献 ①医療従事者養成機関の要請に基づき、実習生を受け入れる。	おおむね良好	
3-1-3-2	②旭川市図書館との連携・協力を強化し、地域住民への支援を促進する。	おおむね良好	
② 国際化に関する目標		おおむね良好	
国際的な交流・連携・協力活動を通して国際化を推進する。		おおむね良好	
3-2-1-1	国際化を推進する体制の整備・充実 ①国際交流推進室を中心に、国際化推進体制等について検討し、整備・充実を進める。	おおむね良好	
3-2-1-2	②遠隔医療センターの国際機能を拡張する。	おおむね良好	
発展途上国への研究支援を行う。		おおむね良好	
3-2-2-1	発展途上国への研究技術供与を推進する。	おおむね良好	